

## ●モンゴル

2019年1-5月期のモンゴルの主要マクロ経済指標は、概ね改善傾向を持続している。しかし、全般的な経済状況は弱含みであり、不良債権の拡大、通貨トゥグルグの減価の継続などの悪化傾向も見られる。

### マクロ経済

2019年第1四半期の実質GDPの伸び率は前年同期比8.6%となり、前期の同8.1%を上回った。これは全ての部門の伸びによるものである。製造業・建設業の伸びは前年同期比11.2%でサービス業の伸びは同8%であった。需要項目別では総資本形成が前年同期比29.5%、純輸出が同28.8%であった。最終消費は相対的に低く同3.8%に止まった。

鉱工業生産額の伸び率は第1四半期の前年同期比11.5%から低下し、4月には同6.6%、5月には同4.8%となった。しかし1-5月期の累積は同9.2%であった。鉱業部門、特に石炭採掘の伸び率の低下が全体の伸び率の低下の要因となっている。1-5月期の鉱工業生産額は8兆2923億トゥグルグで、その73.3%が輸出であった。

2019年3月末の登録失業者数は2万1800人、4月末は2万2500人、5月末は2万3500人であった。2019年1-5月期において、3万400人が新たに失業者として求職のために労働社会福祉サービス庁に登録した。同時期に6800人が職を見つけ、2万5700人が求職活動を行わず失業者リストから除かれた。登録失業者の52%が

女性で、49.6%が高校卒、28.1%が大学卒であった。また、54.9%が35歳以下であった。新規卒業者の雇用の不足は技能のミスマッチを意味し、教育システムを見直す必要性を示している。他方それは、モンゴルの雇用者の大部分が新入社員に企業内訓練(OJT)を行う能力を有していないことを示している。国家統計局と労働保護省が共同で開発した新たな方法による労働力調査によれば、2019年第1四半期の失業者数は15万3592人で、労働社会福祉サービス庁の登録数の7倍となった。また失業率は11.8%と推計された。

2019年4月の消費者物価(CPI)上昇率は前年同期比7.0%で、5月には同7.9%に上昇した。5月において、品目別で全体の26.1%の最大のシェアを占める食料および非アルコール飲料の上昇率は11.3%となり最高であった。二番目の16.6%のシェアを占める衣服・靴は8.7%、三番目の14.4%のシェアを占める交通は5.2%となっている。

2019年5月の通貨トゥグルグの対米ドル平均為替レートは、対前年同期比10%の減価となる1ドル=2645トゥグルグであった。

2019年1-5月期の国家財政収支は1460億トゥグルグの赤字であった。2019年5月は1400億トゥグルグの赤字となった。1-5月期の調整収入と援助受取は、前年同期を19.6%上回る4兆トゥグルグであった。1-5月期の財政支出と純融資は、前年同期を16.7%上回る3兆8000億トゥグルグであった。1-5月期の租税収入は、前年同期を21.7%上回る3兆6000億トゥグルグであった。租税収入は、財産税を除く全ての税目で増加した。調整収入と援助

に加え、4210億トゥグルグが未来資産基金に、249億トゥグルグが調整基金に繰り入れられた。財政収入のうち90.8%が租税収入、9.2%が税外収入であった。財政支出と純融資の増加は、主に経常支出の増加によるものである。経常支出は前年同期を12.1%上回った。経常支出は財政支出と純融資の84.2%を占め、資本支出は13.8%、純融資は2.1%であった。

2019年5月末の貨幣供給量(M2)は、20兆3000億トゥグルグ(76.7億ドル)であった。これは前年同期を19.1%上回っている。米ドル建てでは、同じく8.3%上回っている。一方、2019年5月末の融資残高は18兆トゥグルグで、前年同期を20%上回っている。米ドル建てでは前年同期を9.2%上回っている。2019年5月末の不良債権比率は10.7%で、前年同期の8.7%から上昇した。

### 外国貿易

2019年1-5月期のモンゴルの貿易相手国は135カ国で、貿易総額は56億ドルであった。輸出は前年同期を13.1%上回る33億ドルで、輸入は前年同期を6.3%上回る23億ドルであった。この結果、貿易収支は9億4800万ドルの赤字となった。輸出の増加は主に鉱産物と繊維製品の伸びによるものであった。鉱産物の輸出は前年比13.2%増で、繊維製品は同23.2%増であった。石炭の輸出は14.8%上昇し12億7000万ドルとなった。同時期に輸入は、前年同期比0.2%減少した機械設備・電気機器を除くすべての項目で増加した。自動車および部品の輸入は前年同期比29.1%増加し、石油は39.5%、軽油は

22.3%それぞれ増加した。

1-5月期の中国への輸出は全体の90.7%を占め、輸入は31.2%を占めた。モンゴルの唯一のEPA締結国である日本からの輸入は、前年同期比24.2%の増加であったが、日本への輸出は8.3%の減少

であった。

### 家畜

2019年1-5月期において、牝の繁殖用家畜の75.5%にあたる2250万頭が出生し、仔の生存率は97%であった。成体家

畜の自然損失は62万3700頭で、前年同期を67%下回った。損失の半分以上は西地域で32万1800頭であった。

ERINA 調査研究部主任研究員  
エンクバヤル・シャクダル

	2015年	2016年	2017年	2018年	2018年 1Q	2018年 2Q	2018年 3Q	2018年 4Q	2019年 1Q	2019年 4月	2019年 5月	2019年 1-5月
実質 GDP 成長率(対前年同期比:%)	2.4	1.2	5.3	6.9	6.2	6.5	6.6	8.1	8.6	-	-	-
鉱工業生産額(対前年同期比:%)	8.8	12.3	13.0	4.8	3.1	1.9	▲1.3	15.9	11.5	6.6	4.8	9.2
消費者物価上昇率(対前年同期比:%)	1.9	1.1	4.3	6.8	6.8	6.4	6.5	7.5	7.0	7.0	7.9	7.2
登録失業者(千人)	32.8	34.4	25.5	25.0	23.1	25.8	24.2	25.0	21.8	22.5	23.5	23.5
対ドル為替レート(トゥグルグ)	1,971	2,146	2,441	2,473	2,408	2,411	2,477	2,594	2,639	2,635	2,645	2,639
貨幣供給量(M2)の変化 (対前年同期比:%)	▲4.6	19.8	30.5	22.8	31.1	28.6	21.4	22.8	22.5	22.6	19.1	19.1
融資残高の変化(対前年同期比:%)	▲6.4	6.1	9.6	26.5	11.5	19.3	21.8	26.5	23.5	22.1	20.0	20.0
不良債権比率(%)	7.4	8.5	8.5	10.4	8.7	8.6	8.3	10.4	10.7	11.0	11.0	11.0
貿易収支(百万 USドル)	872	1,558	1,863	1,137	352	470	110	205	486	260	203	948
輸出(百万 USドル)	4,669	4,917	6,201	7,012	1,482	2,099	1,701	1,729	1,772	740	751	3,263
輸入(百万 USドル)	3,798	3,358	4,337	5,875	1,130	1,629	1,592	1,524	1,286	480	549	2,315
国家財政収支(十億トゥグルグ)	▲1,157	▲3,660	▲1,742	12	▲26	39	229	▲230	194	92	▲140	146
国内貨物輸送(対前年同期比:%)	▲16.1	12.5	19.1	15.1	19.4	1.1	18.4	20.8	9.7	-	-	-
国内鉄道貨物輸送(対前年同期比:%)	▲8.0	8.3	8.7	13.4	37.7	3.3	5.6	12.3	13.1	18.6	8.0	12.8
成畜死亡数(対前年同期比:%)	56.0	2.3	▲38.8	3.0	4.2	3.1	54.0	58.0	▲74.0	▲66.7	▲43.9	▲66.9

(注) 消費者物価上昇率、登録失業者数、貨幣供給量、融資残高、不良債権比率は期末値、為替レートは期中平均値。

(出所) モンゴル国家統計局『モンゴル統計年鑑』、『モンゴル統計月報』各号 ほか